

賑やかだった好日荘の2015夏休み

吹田市佐竹台1 2・1の（公財）学 びと心のふれあいセ ンター「好日荘」で は二の夏休み、子ど

吹田市佐竹台1
2-1の(公財)学
びと心のふれあいセ
ンター「好日莊」で
はこの夏休み、子ども
ら「自分は汚れても
周囲をきれいにして
人に喜ばれる存在」
と『雑巾の心』を学
んだあと、
こちらを対象とした
同庄の本

吹田市佐竹台1-2-1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」で、この夏休み、子どもたちを対象とした同荘のホーリー下、なごみを繰り広げ、(7月31日)

ら「自分は汚れてもして、「吉日に悪周囲をきれいにしてをなすに、必ず凶な人に喜ばれる存在」り。悪日に善を行ふと『雑巾の心』を學に、必ず吉なり」と

吹田市佐竹台1-2-1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」ではこの夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、毎年こなく振つた。皆段など周囲をきれいにして、人に喜ばれる存在』と『雑巾の心』を学んだあと、『吉日に悪をなすに、必ず凶なり。悪日に善を行ふに、必ず吉なり』と



たち (7月31日)

吹田市佐竹台1-2-1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」ではこの夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。第1弾は、7月31日に開いた『お坊さき』で実際には巾がけで階段など同荘のホールや廊下、ルームなど周囲をきれいにして、人に喜ばれる存在』と『雑巾の心』を学んだあと、に、必ず吉なり』と、『吉日に悪



吹田市佐竹台1・2・1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」では、この夏休み、子どもたちを対象とした同荘のホーラー自ら「自分は汚れてもして、「吉日に悪周囲をきれいにしてをなすに、必ず凶な人に喜ばれる存在」り。悪日に善を行ふ」と『雑巾の心』を学んだあと、に、必ず吉なり』と。浄土真宗本願院に開いた『お坊さ第1弾は、7月31日で実際に階段など催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。階段などを実験しけた。雑巾が体験をした。

摺に緊張気味の子どもたち（7月31日）

吹田市佐竹台1-2-1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」で、この夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。同荘のホールや廊下、階段などに実際に学ぶお行儀見習い』。浄土真宗本願寺派僧侶でもある筆も、また、周囲をきれいにして、人に喜ばれる存在」と『雑巾の心』を学んだあと、人に喜ばれる存在』。年に、必ず吉なり』と、

ての挨拶に緊張気味の子どもたち（7月31日）

A photograph showing five children sitting on the floor in a traditional Japanese room with tatami mats and shoji screens. They are all wearing name tags and are focused on their work. The child on the far left is wearing a dark kimono-like outfit. The other four children are in casual clothing. The room has a warm, wooden atmosphere.

吹田市佐竹台1-2-1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」ではこの夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。第1弾は、7月31日に開いた『お坊さんに学ぶお行儀見習い』。浄土真宗本願寺派僧侶でもある笹辺美和子代表理事が同荘を会場に活動し、8月16日には大人もまた、同荘のホーリーな空間で実際に雑巾を体験しきれた。同荘のホールや廊下、階段などに、必ず吉なり」と『雑巾の心』を学んで、『吉日に悪人に喜ばれる存在』をなすに、必ず凶なり。悪日に善を行ふ



正座しての挨拶に緊張気味の子どもたち（7月31日）

正座しての挨拶に緊張気味の子どもたち（7月31日）

吹田市佐竹台1・2・1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」ではこの夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。第1弾は、7月31日に開いた『お坊さくら』で、廊下、階段など同荘のホールや廊下、階段などを実際に雑巾がけした。また、8月16日には大人と一緒に学ぶお行儀見習い』。浄土真宗本願寺派僧侶でもある笹辺美和子代表理事が同荘を会場に活動している街かどデイハウス・コメットの社とし恒例としていた恒例



正座しての挨拶に緊張気味の子どもたち（7月31日）

吹田市佐竹台1-2-1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」ではこの夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。第1弾は、7月31日に開いた『お坊さん』に学ぶお行儀見習い』。浄土真宗本願寺派僧侶でもある笹辺美和子代表理事が同荘を会場に活動している街かどデイハス・コメットの辻元美奈子代表にも協力して、『こころ

ら「自分は汚れても」「『吉日に周囲をきれいにしてをなすに、必ず凶な人に喜ばれる存在』り。悪日に善を行ふ」と『雑巾の心』を学んで、必ず吉なり』と同荘のホールや廊下、階段などで実際に雑巾がけを体験した。また、8月16日には大人たちを対象とした恒例催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。第1弾は、7月31日に開いた『お坊さん』に学ぶお行儀見習い』。浄土真宗本願寺派僧侶でもある笹辺美和子代表理事が同荘を会場に活動している街かどデイハス・コメットの辻元美奈子代表にも協力して、『こころ



正座しての挨拶に緊張気味の子どもたち（7月31日）

吹田市佐竹台1・2・1の（公財）学びと心のふれあいセンター「好日荘」ではこの夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。第1弾は、7月31日に開いた『お坊さん』に学ぶお行儀見習い』。浄土真宗本願寺派僧侶でもある笹辺美和子代表理事が同荘を会場に活動している街かどディハウス・コメットの辻元美奈子代表にも協力を仰ぎ、日常生活の中でのちよつとし、所作や挨拶などを、中で心をこもる、お話を、大坂市鶴見区にある慈

ら「自分は汚れてもして、「吉日に悪周囲をきれいにしてをなすに、必ず凶な人に喜ばれる存在」り。悪日に善を行ふと『雑巾の心』を学んだあと、同荘のホールや廊下、階段など実際に雑巾がけを体験した。また、8月16日には大人たちを対象とした恒例の『こころ』のお話』。正座しての挨拶に緊張気味の子どもたち（7月31日）



吹田市佐竹台1・2・1の（公財）学びと心のふれあいセントア「好日莊」ではこの夏休み、子どもたちを対象とした催しなどを繰り広げ、例年になく賑わった。第1弾は、7月31日に開いた『お坊さーんに学ぶお行儀見習い』。浄土真宗本願寺派僧侶である笹辺美和子代表理事が同荘を会場に活動している街かどディハウス・コメットの辻元美奈子代表にも協力を仰ぎ、日常生活子どもたちに伝授し、中でのちょっととしの『こころのお話』。区にある慈恩寺住職の大坂市鶴見区に恒例としている『お行儀見習い』。また、8月16日には大人たちを対象とした恒例の『お行儀見習い』。階段、廊下で雑巾がけ（8月5日）正座しての挨拶に緊張気味の子どもたち（7月31日）



玄関ホールを中心に階段、廊下で雑巾がは（8月5日）



正座！ その挨拶に緊張気味の子ビまたち（7月31日）



こころのお話で講演する慈恩寺の 墓林尚顯住職（8月16日）



車座になって大きな輪を回しながら、りとり遊び (8月22日)

言へり。吉凶は、人によりて、日によらず」と呼びかけた。
「徒然草の一節などを紹介しながら、「人間は良いこさらには子どもと呼ばれた。」
の最後は8月22日『地蔵盆みたいいこと』。笛

『だるまさんが転んだ』『電車ごっこ』などの懐かしい遊びを全員で楽しんだ。